

庶民芸術の華 手ぬぐい百年展

H25年 11月19日(火) ~ H26年 1月10日(金)

◎「手ぬぐい百年展」必・浮田光治とその時代

明治45年から平成13年までの88年の生涯を手拭い一筋に生きてきた 浮田光治 (うきた みつじ)。

昭和4年、旧制中学校を卒業し、京都の木綿問屋に就職。手ぬぐい部門に配属され、手拭い絵師(デザイナー)としてスタートすると同時に、手拭いコレクターとして収集を始める。

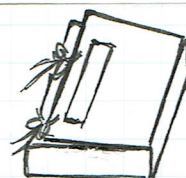
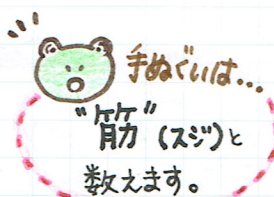
◎昭和の初期という時代

「粋なもの」をもとめ、経済的に余裕のある「だんな衆」の間では、『茶の道』を筆頭に、『骨董あつめ』や『手拭い収集』なども大変盛んであった。

手拭いコレクターが、自慢のコレクションを持ち寄り、全国各地で開かれる手拭いの交換会は、百いう会、いざよる会、みぞめ会などの会名で定期的に開催された。 ※ 百いう(ももいろ) いざよる(いざよい)

また、企業・会社は、年始挨拶やおみやげとして独自の手拭いを作り、配布。それが、企業の歴史を表すこととなった。

戦後、手拭いがタオルに取って替われ、衰退していくが、近年、手拭いの新しい方向として、バンタナや袋、草包などに利用され、復活しつつあるように思われる。

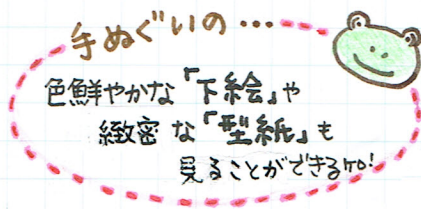


≡ 浮世絵手拭十筋入箱

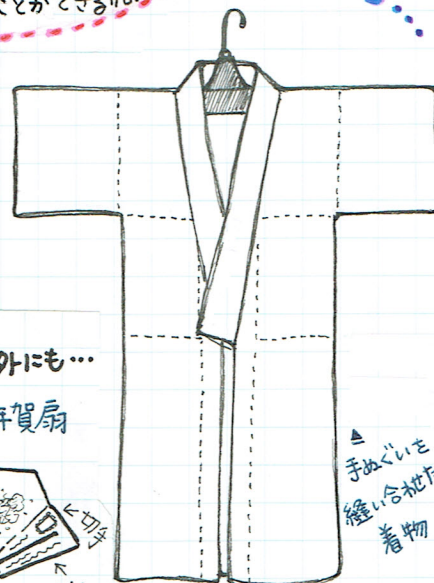
1枚
じゃなく



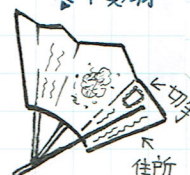
1筋
だよ!



他にも...



手ぬぐい以外にも...



...ちょこっとお知らせ... 1月のイベント・講座



『こま遊び』

H26年

日時： 1月5日(日) 10:00~12:00

講師： 枇杷 紘一郎さん・喜代子さん

費用： 200円(入館料) ※ 中学生以下は 無料!

※ 申し込み不要。当日、ご来館下さい。

からくり独楽(コマ)を使った楽しい実演の後、みんなていろいろなコマをまわして遊ぼう!!

『父の手ぬぐいよもぎ話』

H26年

日時： 1月9日(木) 13:30~

講師： 佐野 恵美子さん

費用： 200円(入館料)

※ 申し込み不要。当日、ご来館下さい。

手ぬぐいのデザインや製造も手がけられた、父・浮田光治さんの思い出や、4文集にまつわるお話、作品の解説として下さい。

感謝!

銀士会館まつりに、たくさんのご来館、



ありがとうございました!

ぶらり郷士館

Vol.14

※ 地図は裏面にあります。

☎ 072-794-3354